



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



2018~19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏



インスピレーションになろう

国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

新潟 RC 7月第 3 例会 (2018.7.17) No.3241

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様、こんにちは。前回の例会において、西日本を中心に発生しました平成30年7月豪雨災害の被災支援について、ふるさと納税を利用しての寄付という方法も、私たちができる支援の一つではないでしょうかというお話をさせていただきました。ふるさと納税の最大手のサイトである「ふるさとチョイス」というサイトによりますと、これまでに約4万1000件、総額で約6億9000万円の寄付が集まったとのこと。寄付の方法は、二通りあり、①被災した自治体に直接ふるさと納税による寄付をするという方法と、②被災した自治体に代わって寄付を受け付ける自治体へ寄付をするという方法があります。「ふるさとチョイス」のサイトでは、現在22の自治体が代理寄付を受け付けています。前者の方法のほうが直接の寄付ということで良いような気がしますが、よくよく考えますと、被災地の自治体は、通常業務に加えて、復旧作業で忙しく、さらに多額の寄付の受入れに伴う事務負担により、行政事務が停滞する可能性があります。これに対して、後者の代理寄付という制度は、他の自治体が寄付の受入れに関する事務負担を引き受けてくれますので、今回のような大規模災害時には、被災地の手間を要せずに寄付金が確実に届く大変ありがたい仕組みであるといえます。被災地の事務負担の軽減につながり、被災地の自治体が、復旧支援に力を注ぐことができる制度といえます。私たちが、被災支援を行う際も、被災地の状況やニーズを踏まえたうえで、合理的かつ効果的な支援を検討していく必要があるのだと、改めて感じました。

では、ロータリアン、ロータリークラブとして、どのような支援が考えられるのでしょうか。地区からは、地区のロータリアンとして、所属の行政区(新潟クラブであれば新潟市)における募金や社会福祉協議会の支援活動への参加をお願いしたいとの連絡がありました。全国のガバナー会でも支援方法を協議しているとのことであり、追って、何らかの連絡があるようです。被災地の状況やニーズを踏まえたうえで、被災地に所在するロータリークラブを通じて、支援をするという方法も考えられると思います。地区や全国ガバナー会は、地区や全国のロータリークラブを代表して、被災地に所在する各ロータリークラブから、各ロータリークラブの奉仕プロジェクトに対する影響等を聴取するなどして、被災地の状況やニーズを把握し、各クラブに

情報をフィードバックし、各クラブはそれをもとに支援を検討するという方法も良いのではないかと考えております。地区から続報があり次第、皆様にお伝えさせていただきます。

本日は、先週から今週にかけての会長としての活動を若干報告させていただきます。まず、7月12日に、前年度のプログラム委員会委員長の竹石松次さん、今年度のプログラム委員会委員長の吉田和弘さん、地区の米山記念奨学委員会委員長の宇尾野隆さんとともに、駐新潟大韓民国総領事館を訪問し、総領事の鄭美愛(ジョン・ミエ)さんにお会いしてまいりました。鄭美愛さんには、7月31日の例会において卓話をお願いしており、卓話に向けての打合せをさせていただきました。鄭美愛さんは、筑波大学の大学院生時代、ロータリー財団の奨学生であり、かつ、米山記念奨学会の奨学生でもあったとのこと、とても懐かしそうにお話されていました。当日は、日韓関係についてのお話のほか、自身のご経験を踏まえたロータリー活動のお話などをさせていただく予定です。当日のスピーチが今から待ち遠しいです。鄭美愛さんは、当日、公務のために13時ごろに例会場に到着する予定です。当日は、イタリア軒さんをお願いして、昼食に韓国料理のメニューを入れてもらい、鄭美愛さんをお迎えしたいと思います。

次に、7月15日に、新潟ローターアクトクラブ主催のバーベキュー大会に参加してまいりました。当日は、新潟ロータリークラブの塚田正幸さんのご自宅をお借りし、楽しくバーベキューをしながら、ローターアクト6名といろいろなお話を楽しく過ごすことができました。塚田正幸さん、ありがとうございました。ローターアクトクラブとは、18歳から30歳までの青年男女のためのロータリークラブが提唱する奉仕クラブです。新潟ローターアクトクラブは、新潟ロータリークラブが提唱するローターアクトクラブであり、会員数は約15名、ロータリアンが所属する企業の若手社員や新潟青陵大学の学生が中心になって活動しています。例会は、第2・第4水曜日の夜にホテルイタリア軒で行っています。今年度は、塚田正幸さんのご子息の塚田忠幸さんが会長を務め、「愉快活発」というクラブターゲットのもと活動を行っています。ローターアクトの目標(手続要覧参照)は、①専門技術及び指導能力を開発すること、②他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること、③若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること、④提唱ロータリークラブと協力して活動に当たる機会を提供す

ること、⑤ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起することです。ローターアクトは、皆さん素直で真面目で、ロータリアンとの交流を楽しみにしています。私たちにとっても、ローターアクトとの交流は、学びや気づきの場になると思います。今年度は、夜例会のほか、海岸清掃等の社会奉仕プロジェクトにも参加をよびかけ、交流の機会を設けてまいりたいと思います。また、私たちが、ローターアクトクラブの例会へ参加し、交流を図ることも有益であると考えます。例会への参加はメンバーになりまします。ローターアクトの目標が達成されるよう、皆様にご協力をお願いし、本日の会長の挨拶とさせていただきます。

(3) 本多ライラ委員長より地区ライラ研修ご案内

下記の地区ライラ研修に参加希望の方は **8月21日までに新潟クラブ事務局** へご連絡下さい。

研修テーマ「若者が考える、地域観光は」

開催日：2018年9月29日(土)・30日(日)

研修会場：ホテルセンチュリーイカヤ(直江津駅前)

研修内容：初日(9:00受付開始・開会式9:50)

講演(上越市立水族博物館館長 櫻 健太郎 氏)

見学先 上越市立水族博物館(一部抽選で裏側見学)

二日目(13:00頃終了予定)

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

田村貫次郎君 横村 正一君

米山奨学会寄付発表(仙石 正和副委員長)

新田 幸壽君

青少年育成基金寄付発表(田中堅一郎委員長)

本間 彊君 津久井勝之君

田中堅一郎君

(5) ニコニコボックス紹介(渡辺 雅美委員)

・池田 修人君 7月10日に銀婚式を迎えました。

・仙石 正和君 先日、結婚記念日のお花を頂戴いたしました。ワールドカップも終わりました。私はたまたま日本とポーランド戦の実況が見られず家内は見たようで終盤の日本の負け方をみて「何か変ね」と言い、私は「決勝に行けたので良いのでは」と言って意見が対立しました。その後、私はビデオでこの試合を見て「この負け方は日本らしくない」との意見に反転しました。一方「何か変ね」と言っていた家内は日本が決勝に行けたので喜んでその後の試合を見て、今度は夫婦間の意見が完全に逆転し対立したままでした。ロータリーのお花の到着で、この対立も解消しつつあります。ありがとうございました。

(6) 表彰

・徳永 昭輝君へマルチプル・ボールハリスフェローピン贈呈

(7) 幹事報告(大澤 強)

RI 重要文書を翻訳する日本チームのボランティアの翻訳専門委員を募集しています。ご協力頂ける方は会長幹事、事務局までお願い致します。

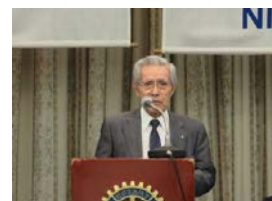
・本日の臨時理事会にてミャンマー医療支援プロジェクトへ社会事業基金より2000ドル支出することが決議されました。

(8) 「青少年交換事業について」

本間 彊君



福地 利明君



塚田 正幸君



(9) 7月17日例会の出席率 73.56%

会員数 88名(出席免除会員 6名)

出席者 64名(出席免除会員 5名を含む)

(2週間前メーク後 90.59%)

7月31日の例会予定

卓話 「未来志向の韓日関係のため」

駐新潟大韓民国総領事館 総領事 鄭 美愛 氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>